

学校給食・企業団体食堂 など
ご担当者さま向け

大阪エコ農産物

環境にやさしく、安心・安全な農産物のご紹介



大阪エコ農産物を社員食堂に
導入してSDGsを实践



大阪エコ農産物とは

農薬の使用回数と化学肥料(チッソ)の使用量を、大阪府内の標準的な使用回数・量の半分以上に抑えて栽培された農産物です。

大阪府が厳格な基準で認証された農産物が認証マークを表示して販売されています。




農薬使用
50%以下



化学肥料
50%以下



大阪府認証



特徴

- ✓ 高い生産技術と厳格な認証:大阪府の厳しいチェックを受け、適切な栽培管理で安全・安心を実現
- ✓ 地産地消の推進:大阪府内で生産された新鮮な地場農産物
- ✓ トレーサビリティ:生産者が明確で、安心して購入できる
- ✓ 豊富な品目:米、野菜、果樹など多様な農産物を認証
- ✓ 認証マーク表示:3種類のマークで栽培方法を明確化

主要品目の収穫・出荷時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米	○	○	○								○	○
しゅんぎく	○	○	○	○	○	○				○	○	○
こまつな	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ほうれんそう	○	○	○	○	○	○				○	○	○
みつば	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
たまねぎ				○	○	○	○	○				
さといも									○	○	○	
じゃがいも					○	○	○				○	○
温州みかん	○	○								○	○	○
ぶどう						○	○	○	○			



※大阪府内での一般的な生産出荷時期をとりまとめたもので、個別の生産者により時期が異なる場合があります。

生産に関するデータ

直近1年間の認証実績(令和7年)

件数: 4,820件

農家数: 1,182名

栽培面積: 555ヘクタール

作物別栽培面積トップ10

(単位:ヘクタール)

府内各地域で季節に応じた多様な品目を生産しており、学校給食や商品開発に年間を通じて幅広く活用できます。

令和7年1月申請 収穫:令和7年4月~令和8年秋冬頃		令和7年7月申請 収穫:令和7年10月~令和8年春夏頃	
1. 水稲	228.0	1. こまつな	22.8
能勢町55.1、和泉市43.4、枚方市34.1		堺市19.5、東大阪市0.61、松原市0.57	
2. しゅんぎく	19.4	2. しゅんぎく	22.6
貝塚市18.1、熊取町0.6、大阪市0.3		堺市12.02、泉佐野市4.61、貝塚市2.59	
3. 温州みかん	16.2	3. みつば	20.1
堺市8.4、貝塚市1.7、和泉市1.6		貝塚市19.92、堺市0.15	
4. ぶどう	13.8	4. たまねぎ	11.9
柏原市9.9、交野市2.8、太子町0.8		堺市2.16、泉南市1.61、貝塚市1.52	
5. ほうれんそう	7.9	5. ほうれんそう	11.5
泉南市5.5、貝塚市1.0、東大阪市0.6		堺市6.31、和泉市0.87、東大阪市0.76	
6. えだまめ	7.1	6. みずな	9.4
八尾市2.9、能勢町1.1、松原市0.8		堺市7.39、貝塚市0.58、和泉市0.35	
7. こまつな	5.5	7. 温州みかん	8.8
貝塚市2.5、四條畷市1.6、東大阪市0.9		太子町5.52、千早赤阪村2.93、富田林市0.2	
8. さといも	4.6	8. くり	8.3
泉佐野市1.2、泉南市0.9、能勢町0.6		能勢町8.23、岸和田市0.05、大阪狭山市0.01	
9. ジャガイモ	4.5	9. ブロccoli	7.1
東大阪市1.1、交野市0.8、能勢町0.5		泉佐野市4.38、堺市0.68、能勢町0.43	
10. トマト	3.8	10. ぶどう	6.5
能勢町1.1、堺市0.8、和泉市0.7		羽曳野市4.27、大阪狭山市1.72、茨木市0.17	

詳しくはこちら！

大阪府ホームページで、市町村別の申請面積や生産者ごとの実施作物の一覧、レシピや加工品情報などを公開しています。品目検討などにご活用ください。

大阪エコ農産物認証制度

このページでは大阪エコ農産物認証制度に関する情報を掲載しています。

府内主要農産物（水稲、なす、トマト、ぶどう等）の病害虫防除についての情報は[こちら](#)をご覧ください。

大阪エコ農産物認証状況

令和7年5月22日現在

○大阪エコ農産物認証状況（申請回数別データ）

	認証件数	申請者数	認証面積	市町村別申請等一覧
(第46回) 令和6年7月申請分	2,218件	529名	19,707アール	府内地区別認証面積等 (PDF: 120KB) 市町村別申請件数等一覧 (PDF: 50KB) 栽培責任者作物名一覧 (PDF: 303KB)
(第47回) 令和7年1月申請分	2,602件	653名	35,766アール	New! 府内地区別認証面積等 (PDF: 82KB) New! 市町村別申請件数等一覧 (PDF: 46KB) New! 栽培責任者作物名一覧 (PDF: 198KB)
直近2回合計	4,820件	1,182名	55,473アール	



<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/syokunoanzen/ekonousanbutsu.html>



<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/syokunoanzen/joukyou.html>

環境配慮への貢献



大阪エコ農産物は、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に直接的に貢献します。

✓ 環境保護と生物多様性



農薬・化学肥料の削減により、土壌や水質への負荷を軽減し、生物多様性の保全に大きく貢献します。

田畑に生息する生き物たちの生態系を守り、持続可能な農業を実現します。

✓ CO₂排出量の削減



地産地消により輸送距離が短縮され、カーボンフットプリントを削減できます。
化学肥料の製造には化石燃料が多く使用されており、使用量を半減することで製造時のエネルギー消費とCO₂排出を大幅に削減し、気候変動対策に貢献します。

✓ 安全・安心な食の提供



大阪府の厳格な認証基準に基づき、栽培の計画から実績まで、農薬・化学肥料の適切な使用を厳しいチェックを受けて生産されるため、消費者に安全・安心な食材を提供することが可能です。

子どもたちの食育にも最適です。

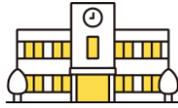
活用事例のご紹介

活用シーンの例

✓ 学校給食

子どもたちに安全・安心な地元食材を提供し、食育を推進。

環境教育の教材としても最適です。
大阪府内の多くの学校で導入実績があります。



✓ 商品企画・開発

環境配慮型商品のブランド化に最適です。

認証マークを活用し、消費者へのアピールポイントとして差別化を図ることができます。



✓ 飲食店

地産地消とSDGsへの取り組みをPRすることができます。

環境意識の高い顧客層にアピールし、企業価値の向上につながります。



✓ 社員食堂・福利厚生

企業のCSR活動の一環として導入することができます。

従業員の健康促進と環境への配慮の両立が可能です。



① 東大阪市の取組

大阪府下で認証件数ナンバーワンの東大阪市では、大阪エコ農産物を活用した地産地消の取組を積極的に展開しています。

✓ 販路拡大の取組

- 東大阪エコ農産物応援ポイント(OENポイント)の実施
- 市内コンビニで地元野菜を販売
- 東大阪市地産地食サポーター登録制度(飲食店6軒、小売店等15軒)

✓ 商品開発の実績

- 地元高校生とのコラボでさつまいもパン菓子を商品化
- 農薬・化学肥料不使用のさつまいもで「干し芋」を開発し、スーパーマーケットで期間限定販売実施

安全・安心! 大阪エコ農産物
大阪エコ農産物(エコ野菜)とは、農薬・化学肥料を不使用または適量の半分以下で栽培された大阪府の厳しい認証基準をクリアした農産物のこと

意外と東大阪の
エコ農産物がいっぱい。
JA直売所で
目印のシールを見つけてね!

令和5年
4月1日(土)
スタート

シール200枚で
賞品と交換
(賞品は店舗指定品)

シール台紙は
各店舗で
ご用意しています

問合せ先: フレッシュ・クラブの各店舗、畑のつづき東大阪店



ポイント

小規模農家でも多品目栽培の強みを活かし、コンビニ・ホテル・スーパーなど多様な販路を開拓。学校や地域との連携により、地産地消の価値を広く市民に浸透させています。

② スーパーマーケット サンプラザの取組

大阪エコ農産物の販売を始めとした、「安心と健康」をテーマに環境保護と生物多様性保全に貢献する取組が、農林水産省が主催する令和5年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」で近畿農政局長賞を受賞しました。

✓ 全店展開の実績

- 府内34店舗・奈良1店舗の全35店舗で大阪エコ農産物を毎日販売
- 消費者が日常的に環境配慮型農産物を購入できる環境を整備し、継続的な供給体制を確立

✓ 体験型イベントの開催

- 小松菜の収穫体験を毎年開催
- 消費者が生産現場を体験し、野菜の大切さや美味しさを学べる大人気イベントとして定着

ポイント

大阪エコ農産物を「特別なもの」ではなく「日常の選択肢」として定着。体験イベントで消費者の理解と共感を深め、継続的な購買につなげています。



③ 堺市の取組

新鮮で安心できる地元農産物ブランド化の取組として、大阪エコ農産物「泉州さかい育ち」という独自の呼称を付けて地元産であることを訴求しつつ、PR活動を展開しています。

✓ 歴史ある取組

- 大阪エコ農産物認証制度の設立当初から参加し、環境保全型農業を実践

✓ 幅広い品目

- しゅんぎく、こまつな、しろな、ねぎ、キャベツ、みかんなど、供給可能な品目と量は府内最大級



ポイント

ブランドを掲げ、情報発信に積極的に取り組んでいます。生産者有志が設立したJA堺市大阪エコ農産物出荷部会や大規模生産者が1年を通して安定供給を支えています。

④ 北河内地域の広域連携「しあわせのれんげっ娘」の取組

枚方市、交野市、寝屋川市、門真市、守口市の5市が広域連携し、水稻約50haで統一ブランド「しあわせのれんげっ娘」を展開。生産から商品化まで多面的に取り組んでいます。

✓ れんげ農法の実践

- れんげの根粒菌が生み出す窒素を活用し、化学肥料を削減
- 種子の温湯消毒により、農薬使用量ゼロを実現
- JA・市・府が連携した栽培講習会を開催

✓ 多様な販売・活用

- パックごはんとして商品化(利便性・保存性向上)
- 子どもたちへの環境教育・食育にも活用



ポイント

複数市による広域連携で栽培面積を確保し、安定供給を実現。統一ブランド化により、市場での認知度を向上させ、商品化・食育と多面的に展開しています。

利用時の注意点

大阪エコ農産物は環境に配慮した栽培方法のため、通常の農産物とは異なる特性があります。以下の点にご理解とご協力をお願いいたします。

✓ 事前相談の徹底

生産量が限られているため、納品時期、数量、品質などについて生産団体との事前相談にご協力ください。計画的な発注が円滑な取引につながります。

✓ 規格・数量の柔軟性

特定のサイズだけを指定して大量に納品する(例:みかんMサイズ指定)などには対応できない場合があります。サイズ混合や数量調整にご協力をお願いします。

✓ 気象・災害リスクへの対応

気象条件、災害などにより栽培が中止され、打ち合わせどおりに納品できないことがあります。事前に代替手段をご用意いただくことをお勧めします。

✓ 病害虫発生時の対応

病害虫の発生により、やむを得ずエコ栽培を打ち切り、通常栽培の作物として納品することがあります。通常栽培であっても安全性に問題はありません。

直近の計画面積と実績面積の比率は84～92%で、ほぼ予定どおりに収穫出荷されています。また、生産者との良好なコミュニケーションと相互理解が、安定した取引の鍵となります。

環境負荷を減らし、未来へつなぐ

大阪エコ農産物は、環境と人にやさしい持続可能な農業の実現を目指します。
学校給食や商品開発等にぜひご活用ください。

仕入先に関する情報はこちら！

大阪産(もん)データベース

<https://osaka-mon.org/>



問い合わせ先

大阪府 環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

〒583-0862 羽曳野市尺度442

072-957-0520

または お近くの市町村エコ農産物推進協議会 まで

詳細は大阪府ホームページ「大阪エコ農産物認証制度」をご覧ください



エコ農産物

大阪府認証

Osaka
A♥Green
Action 